

菌興号種菌

2022-23

原木しいたけ他

原木栽培用きのこ種菌・資材

製造 菌興椎茸協同組合

推奨 一般財団法人 日本きのこセンター



しいたけ菌の一般的な性質

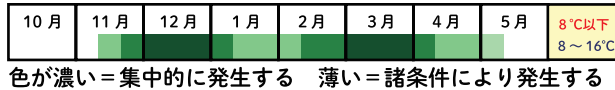
しいたけ菌は5～32℃の温度範囲で成長します（適温は15～26℃）。5℃以下の低温には強く、32℃以上の高温には弱い性質があります。また、菌糸成長やきのこの発生のためには適度な水分が必要です。

しいたけ種菌の発生型と形状について

- 品種は低・中・高温という発生型で区分されます。本カタログでは、発生温度（きのこが発生するために必要な低温刺激）と、成長温度（きのこの成長に好適な温度域）を区別して表記しています。
- 品種名はすべて3ケタの数字で表されます。一番左の数字が小さいほど気温が低い環境で発生する品種です。
- しいたけの発生と成長は、ほだ木の条件・ほだ場環境・発生操作などと密接に関係します。本カタログでは、品種の特徴がよくあらわれている写真を掲載しています。特に、きのこの形状は成長条件によって大きく変わります。

きのこ種菌の拡大培養や登録品種の海外持ち出しは、種苗法により固く禁じられています。

発生時期
カレンダーの見方



右端の温度：赤字=発生温度 青字=成長温度
※発生する時期は標準的なもので、気象条件や栽培環境によって変わります。

菌興115号

低中温（冬春型）



- 傘は円形丸山型で大きく、厚肉・美味でブランド化に適した品種。
- 露地栽培のほか、ハウス栽培にも適し、形成菌は植菌年の1年ほど木から発生しやすい（植孔発生）。

晩秋、ほだ場の最低気温が8℃以下になると自然発生が始まり、5℃以下になると発生量が増加する。冬から春は、ほだ場の最高気温が10～13℃の日が続くと本格的に発生する。



登録品種

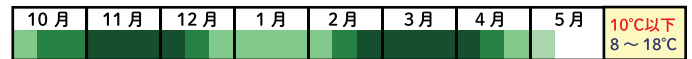
菌興240号

中低温（春秋型）



- 傘は円形丸山型、周縁の巻き込みが強く反転しにくい。柄は短く採取しやすい。
- ほだ化が良く、2年ほど木の秋の発生比率は、通常年で30%程度。

秋、ほだ場の最低気温が10℃以下に安定すると発生量が増える。冬から春は、ほだ場の最高気温が10～13℃になると発生量が増える。暖冬の年は晩秋から翌年の4月にかけて分散して発生しやすい。



登録品種

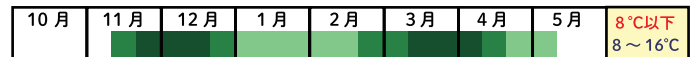
菌興193号

低中温（冬春型）



- 傘は円形丸山型、肉質は硬い。周縁の巻き込みが強く反転しにくい。ヒダが密で美しい。
- 発生の最盛期は3年ほど木だが、古ほだ木からも大形のきのこが採れ、ほだ木の寿命が長い。

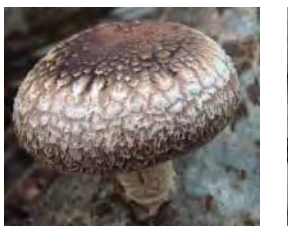
晩秋、ほだ場の最低気温が8℃以下になると自然発生が始まり、3年ほど木では5℃以下に安定すると発生量が増加。冬から春はほだ場の最高気温が10～13℃の日が続くと本格的に発生。分散発生型。



登録品種

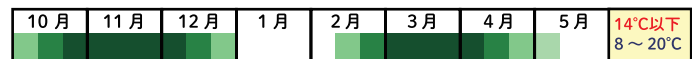
菌興324号

中温（秋春型）



- 傘は円形平山型で肉質は極めて硬く、ヒダが密で美しい。
- 発生の最盛期は2年ほど木だが、走り子（植菌年の秋～春の発生）が多く、分散発生型。

秋、ほだ場の最低気温が14℃以下になると自然発生が始まり、翌年の4月にかけて分散して発生する。春の発生は、ほだ場の最高気温が10℃以上になる頃から始まる。



登録品種

菌興118号

低中温（冬春型）

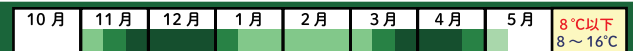
晩秋、ほだ場の最低気温が8℃以下になると自然発生が始まり、5℃以下になると発生量が増加。冬から春は、ほだ場の最高気温が10℃以上の日が続くと発生量が増える。

- 傘は円形丸山型で大きく、厚肉で硬く、柄は太い。
- 露地栽培のほか、浸水によるハウス栽培にも適し、高品質のきのこが採れる。



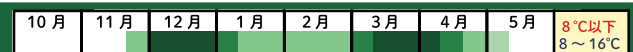
菌興141号

低中温（冬春型）



菌興169号

低中温（冬春型）



登録品種

菌興327号

中温（秋春型）



菌興号種菌

登録品種

菌興301号

中温（秋春型）

新品種



- 傘は円形丸山型で明るく、豊産型。肉厚は中程度、ヒダはやや深め。
- 形成菌は1年ほだ木の秋子発生比率が高く、露地栽培のほか、ハウス栽培にも適応する。

秋、ほだ場の最低気温が14℃以下になると自然発生が始まり、翌年の4月にかけて分散発生する。春は、ほだ場の最高気温が10℃以上になる頃から発生が始まる。

10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	14℃以下 8～20℃

登録品種

菌興N115号

低中温（冬春型）



- 人気品種115号を改良、厚肉・美味の特徴はそのまま。
- 露地栽培のほか、ハウス栽培にも適し、形成菌は植菌年の1年ほだ木から発生しやすい（植孔発生）。

晩秋、ほだ場の最低気温が8℃以下になると自然発生が始まり、5℃以下になると発生量が増加する。冬から春は、ほだ場の最高気温が10～13℃の日が続くと本格的に発生する。

10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	8℃以下 8～16℃

菌興697号

高中温（周年型）

発生温度：13～18℃以下
成長温度：13～28℃
好適湿度：75～90% RH



- 傘は円形丸山型で明るい褐色、肉質は硬くヒダは美しい。食感が良く、美味しく市場性が高い。
- 真夏でも発生量・品質ともに良く、厚肉のきのこが採れる。冬季の使用は15℃以上の温度確保が必要。

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
1年目	1年目はオガ菌・形成菌に限る								条件がそろえば使用可能			
2年目												
3年目												

登録品種

菌興702号

高中温（周年型）

発生温度：13～18℃以下
成長温度：13～28℃
好適湿度：75～90% RH



- 傘は円形丸山型で明るい茶褐色、肉は厚く豊産型。
- 形成菌の多孔植菌によりほだ化を進めれば植菌年に2回程度使用でき、冬季保温・保湿が確保できれば周年栽培が可能。

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
1年目	1年目はオガ菌・形成菌に限る											
2年目												
3年目												

登録品種

菌興706号

高中温（周年型）

発生温度
13～18℃以下
成長温度
13～30℃
好適湿度
70～90% RH

- 傘は円形丸山型で茶褐色、肉は厚く膜切れが遅い。
- 形成菌を植菌し、ほだ化を進めれば植菌年の10月中旬以降の使用が可能だが、702号よりも温度設定を高めにする。

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
1年目	1年目はオガ菌・形成菌に限る								条件がそろえば使用可能			
2年目												
3年目												

登録品種

菌興537号

高中温（周年型）

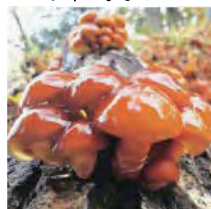
発生温度：13～18℃以下 成長温度：13～28℃ 好適湿度：75～90% RH

- 傘は円形丸山型で明るい褐色、肉は厚く膜切れが遅い。肉質および美味しさは697号と同等。
- 高中温性品種の中では晩生の方、古ほだ木になっても品質劣化が少ない。

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2年目												
3年目												

なめこ

ジャンボなめこ



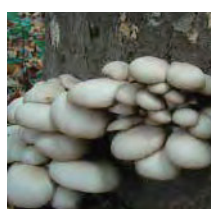
原木の種類

ナラ類 サクラ類
カエデ類 シデ類
シイ類 クルミ類
ヤナギ類 トチノキ
ブナ クリ

発生時期（月）											
7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6

発生温度
8～15℃

ひらたけ



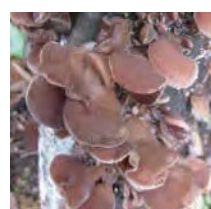
原木の種類

エノキ クルミ類
ヤナギ類 ポプラ
ハンノキ ドロノキ
ウコギ類

発生時期（月）											
7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6

発生温度
10～20℃

きくらげ



原木の種類

アカメガシワ
エノキ
カキ
クワ

発生時期（月）											
7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6

発生温度
15～25℃

コマ菌の径が変わりました！

種菌種類	コマ菌	形成菌	オガ菌
種菌形状 サイズ	 直径と長さ 9.3 mm × 20.0 mm	 直径と長さ 12.7 mm × 20.0 mm 実用新案 ラクラク分割♪	 1,300 cc
包装形態	NEW 1袋 (400個入・800個入)	・1ケース (460ケ / シート × 22) ・ハーフ (460ケ / シート × 11)	1本 (1,300cc 入)
対応キリ	・電キリ (9.3 mm、9.1 mm) ・電キリ (ストッパー付マーク) (9.3 mm、9.1 mm) ・ハイスキリ (9.3 mm)	・電キリ (12.7 mm) ・電キリ (ストッパー付) (12.7 mm) ・ハイスキリ (12.7 mm)	・電キリ (12.0 mm) ・ハイスキリ (12.0 mm)
その他資材	●超深植キリ (9.3 mm) ●フーロー	●コレクト栓 (12 mm) ●ジャンボドーム (有孔タイプ・雨よけタイプ)	

全自動 菌興式椎茸乾燥機
KK-45型 KK-30型

品種と種菌タイプ一覧

品種 種菌 タイプ	しいたけ														な め こ	ひ ら た け	き く ら げ
	登録 品種 菌興 301号	登録 品種 菌興 N115号	菌興 115号	登録 品種 菌興 118号	菌興 141号	菌興 169号	登録 品種 菌興 193号	登録 品種 菌興 240号	登録 品種 菌興 324号	登録 品種 菌興 327号	登録 品種 菌興 537号	菌興 697号	登録 品種 菌興 702号	登録 品種 菌興 706号			
種駒 (800個入)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
NEW 種駒 (400個入)		●	●					●	●						●	●	●
オガ菌	●	●	●	●	●			●	●		●	●	●	●	●	●	
形成菌 (1箱：22シート入)	●	●	●	●	●		●	●			●	●	●	●			
形成菌 (ハーフ) (1箱：11シート入)	●	●	●					●				●	●				

技術指導員
事務所一覧

生産者の皆さまの経営の安定化とときのこ栽培技術の向上を図るため、全国の主要産地に技術指導員を配置し、きめ細かい普及指導を行っています。

関東・東北事務所
TEL (028) 673-1238
FAX (028) 673-1090

中部地区担当
TEL (080) 5234-0959

鳥取事務所
TEL (0857) 51-8132
FAX (0857) 51-8133

九州本部 日向事務所
TEL (0982) 52-5551
FAX (0982) 52-1869

関東・東北事務所 盛岡支所
TEL (019) 636-4059
FAX (019) 635-1359

静岡駐在
TEL (0558) 72-6675
FAX (0558) 72-0894

鳥取事務所 三次駐在
TEL (080) 5234-0956

九州本部 大分事務所
TEL (0974) 63-2220
FAX (0974) 63-2221

北陸駐在
TEL (076) 259-6018
FAX (076) 259-6028

四国事務所
TEL (0893) 25-6199
FAX (0893) 25-6197

九州本部 大分事務所 対馬駐在
TEL (080) 5234-0966
FAX (0920) 54-3570

種菌、資材のご注文は各地の事務所または受注センターへ

菌興椎茸協同組合

種菌資材受注センター

〒680-0864 鳥取県鳥取市吉成 140-1
TEL：0120-606-054 FAX：0120-606-055
<https://www.k-siitake.com/>



栽培や種菌、資材のご相談は (一財) 日本きのこセンターへ

一般財団法人 日本きのこセンター

本部

〒680-0845 鳥取県鳥取市富安 1-84
TEL (0857) 22-6161 (代表)
FAX (0857) 29-1292
<https://www.kinokonet.com/>

